



令和3年度学校だより12月号

東の風光る

歴史と文教の城下町 たかなべ 高鍋町立高鍋東中学校

Municipal Takanahe East Junior High School

自立の精神に燃え、広く敬愛する心を持ち、たくましい創造力を発揮する生徒の育成



木枯らし こがらし

初冬に吹く冷たい風は、木の葉を吹き飛ばしてしまいます。葉を落とした冬の木立は、いかにも寒そうな冬景色です。

高鍋東中生には、寒さに負けず、熱い思いをもって文武に取り組み、しっかりと春に花咲く「確かな力」を身につけてほしいと思います。



2年生職業講話

毎年職場にうかがっての2日間の職場体験を行ってききましたが、コロナ禍の対応として、多くの方に来校していただき職業講話を実施しました。職業の理解だけではなくこれからの生き方をしっかりと考えることができた2日間になったのではないかと思います。生徒のお礼の手紙を紹介します。

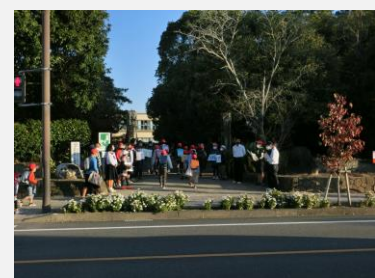
お話を聞いて「仕事のやりがい」の部分にすごく共感しました。自分のした仕事で他人が喜び感謝する姿を見たら、自分もすっごく嬉しくなることがあったからです。自分も職につく時がきたら、人が喜び感謝される職に就きたいです。お忙しい中、働くことの大切さを教えていただきありがとうございました。

小中合同あいさつ運動

あいさつ運動のボランティアを募り、約2週間小学生とのあいさつ運動が行われました。終了後、小学生から次のような心温まる手紙を4人からいただきました。その一つを紹介します。

東中のみなさんへ 6年生

この前は東小であいさつ運動にご協力ありがとうございました。私は、中学生が頑張ってる声を出しているから、私も頑張ろうと思いました。私も誰かに元気をあげられるようになりたいと思いました。私がみんなにあいさつをしたら、大きな声であいさつをしてくれる子が多くなったのでとてもうれしかったし、きもちよかったです。これからもいろんな人に元気できもちのよいあいさつをしたいです。来年中学生になるのでよろしくお願いします。



家庭教育学級

「地域の高校について学ぶ」と題し、高鍋高校校長を講師にお招きしご講話をお願いしました。参加者の感想を紹介します。

地域にこのような魅力的な高校が存在することを大変嬉しく思いました。動画の中の生徒さんたちの笑顔が素敵で、先生方と生徒さんの歯車がしっかりかみ合っているのを感じました。高鍋高校の魅力をもっともって発信していただき、地元の高校に通う子どもたちが増えればいいと思いました。本当に分かりやすくお話をしていただきありがとうございました。



育てるということ 北俊夫氏（総合初等教育研究所参与）

子供は本来、生命力や成長を内に秘めている。これらを引き出し、さらに伸ばすには、周囲の教師や保護者の関わり方が重要になる。結果や成果をせいては事を仕損ずる。腰をじっくり据え、時機が来るのを待つ、心のゆとりが欲しい。

子供により良い成長、発達を促すには、先回りして準備したり、将来遭遇する阻害要因を取り除いたりすることも大事だが、今求めていることを察知し、タイミングよく施すことが重要ではないか。過干渉や無関心や放任は禁物だ。

自動車や家具やパンなどモノは作るというが、アサガオの花など生き物は作るとは言わない。植物や動物は一般に育てるといふ。

子供を育てる時、型にはまった画一的な指導やしつけは行われぬ。同一性を求めすぎると、子供に同調圧力がかかり、ストレスを生み、自立の遅れにつながるからだ。それぞれの子供がより良く成長していくには、教師や保護者が子供のよさや可能性を見だし引き出すとともに、子供が最適な環境の中で、周囲の人たちと適切に関わることだ。

子供を育てるとは、当事者の意思と可能性を信じ、愛情をもって接すること、支えること、そして腰を据えて待つことだ。一人ひとりにその子らしい花を咲かせたい。

合唱コンクール

一人一人が素晴らしい歌声で歌い上げた最高のコンクール。様々な思いの中で当日を迎えたことと思います。行事を通して、生徒一人一人が確実に成長した姿をみせてくれました。



【後記】 合唱コンクールの内容は紙面の都合で少ないですが、本当に最初から最後まで保護者の皆さんと一緒に鑑賞できた最高だったのと思うところです！ 祈りコロナ収束！（校長）